

世界の子どもの本展

IBBY がすすめる世界の児童書 208 冊

期間

2014 年 1 月 18 日(土)～1 月 25 日(土)

場所

山梨県立図書館 1 階交流ルーム 101

入場
無料

開室時間 10:00～18:00 ※20 日(月)は展示をお休みします

甲府市北口 2-8-1 ☎ 055-255-1040

* 講演会 斎藤 倫子 さん(翻訳家)

テーマ 「本との出あい」

日時: 1 月 19 日(日) 13:30～15:30

会場: 山梨県立図書館 多目的ホール

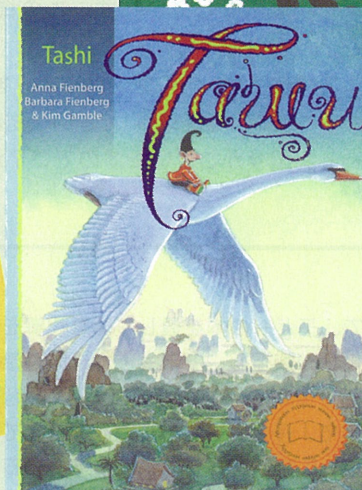
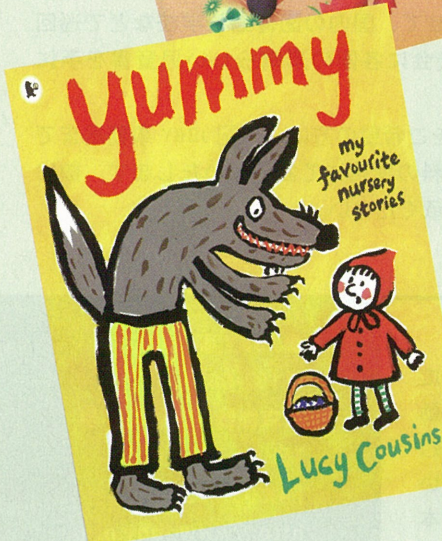
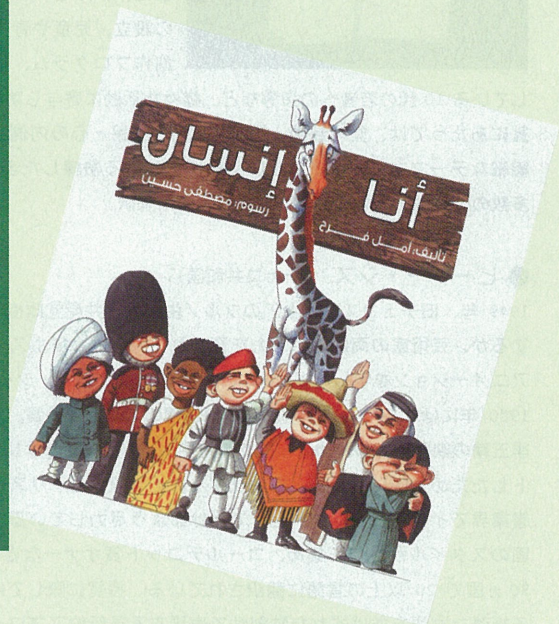
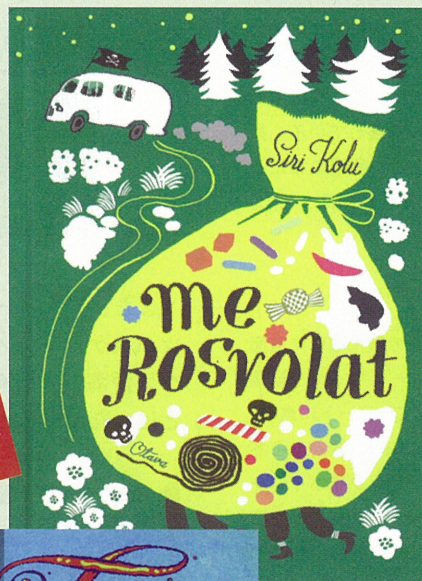
対象: 中学生以上(小学生でも希望者は可)

定員: 先着 100 名 申込不要

講師紹介

○ 斎藤 倫子(さいとう みちこ)

1954 年生まれ。国際基督教大学卒業後、主に英米作品の翻訳を手がける。作品は『ライオンとであった少女』(バーリー・ドハーティ/主婦の友社/2010)『ソフィー・スコットの南極探検』(アリソン・レスター/講談社/2013) など多数。『シカゴよりとんでもない町』(リチャード・ベック作/東京創元社/2010) で 2012 年度 IBBY オナーリストに選出される。第 3 回 JBBY 賞受賞。



左から、『パッくん! おいしいもちしばなし』(イギリス)、『12 個のイースターエッグと消したがり屋の魔女』(キプロス)、『とおい国からきたタシ』(モンゴル)、『われらドロボー一家』(フィンランド)、『たいせつなひとり』(エジプト)

—— 展示作品より

JBBY

● 主催: 一般社団法人日本国際児童図書議会 (JBBY)

● 協力: 山梨県立図書館

● 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成活動

展示 作品

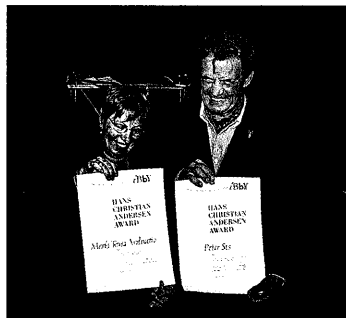
IBBY がすすめる世界の児童書 —— 2012 年国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞



国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards) は、1953 年に IBBY が創設した、世界ではじめての子どもの本の国際賞です。2 年に一度、子どもの本の世界に顕著な貢献をした作家と画家の全業績に対して贈られます。その選考水準の高さから「小さなノーベル賞」とも呼ばれ、世界中の児童文学の質の向上に、計り知れない影響を与えてきました。第 1 回目の受賞者は、『ムギとおうさま』の作者、イギリスのエリナー・ファージョンでした。日本からは、赤羽末吉 (1980 年)、安野光雅 (1984 年)、まど・みちお (1994 年) が受賞しています。

2012 年は、日本の那須正幹、加古里子を含む、32 カ国 57 名の候補者の中から、アルゼンチンのマリア・テレサ・アンドウルエット、チェコ共和国のピーター・シスが選ばれました。



● マリア・テレサ・アンドウルエット (アルゼンチン)

1954 年、アロヨカブラで生まれる。コルドバ大学で文学を学び、基礎理論を土台に構築される作品や論文は、研究対象としても高い評価を受けている。また、アルゼンチン児童文化センターの設立、児童や青少年に向けた読書や創作プログラム、社会の中で危機に面している 10 代の若者への指導など、様々な活動に寄与し功績を残している。授賞にあたっては、愛・貧困・暴力・政治・移民・心の内側など、多岐にわたる繊細なテーマを、詩的で美しい文章により綴る熟練した表現力が称賛された。多数の言語に訳されているが、日本語では未訳。

● ピーター・シス (チェコ共和国)

1949 年、旧チエコスロバキアのブルノ生まれ。共産党政権下の教化教育に直面するが、芸術家の両親に想像力を育まれた。プラハでポスターデザインや短編アニメーションを学んだ後、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートに進み、1980 年にはベルリン国際映画賞短編部門の金熊賞を受賞。2 年後、政府から冬季五輪の映画製作のために米国へ派遣されるが、母国がオリンピックをボイコットしたため米国に残ることを決意する。その際、モーリス・センダックが児童書業界でイラストレーターとして働けるよう尽力している。作品は緻密な点描画のスタイルが注目を集め、コールデコット賞オナーなど数多くの賞に輝き、30 カ国で 20 以上の言語に翻訳されている。授賞に際しては、多様に解釈できる複雑な物語を並べずれた独創性で表現する革新的アプローチと、確かな技量に基づく力強い創作力が、高く評価された。

IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞の創設とともに、世界の優れた児童書に「優良賞 (Hans Christian Andersen, Honour List)」が授与されることになりました。これが現在の「IBBY オナーリスト」の前身です。当初は、国際選考委員の審査を経た作品だけに授与されましたが、やがて、各国支部が推薦する作品すべてをオナーリストと称するようになり、英文名称も、1980 年に、「IBBY Honour List」に変更されました。1974 年に、「文学作品」と「イラストレーション作品」の 2 部門に分けられ、さらに 1978 年には、代表作 1 点とともに、すぐれた翻訳者の全業績を賞する「翻訳作品」部門が加わり、今の 3 部門のかたちとなりました。現在は、IBBY 各国支部が、2 年に一度、過去 3 年以内に自国で出版された児童書のうち、それぞれの国の特徴をもつ最も優れた作品を選んで推薦します。複数の言語をもつ国は、「文学作品」と「翻訳作品」に各 3 言語まで推薦することができます。これらの図書は、各国が世界に広く紹介したい優良作品としてリストにまとめられ、世界に発信されます。

2012 年は、58 の国と地域から 44 言語 169 冊が選ばれました。日本からは、イラストレーション作品に『ぼうし』(井上洋介作 / イースト・プレス)、翻訳作品に『シカゴよりとんでもない町』(斎藤倫子訳 / リチャード・ベック作 / 東京創元社)が紹介されました。(写真左から)



また、デンマークからは、翻訳作品に、高屋奈月原作の「フルーツバスケット」シリーズ 15 巻が推薦されています。日本のコミックスが海外で高く評価され、多くの子どもたちに読まれていることは、たいへんうれしいニュースです。

● IBBY では原書を取り寄せて、国内の図書館や学校などで巡回展示をしています。この機会に各国の素晴らしい児童書を手にとってご覧ください。

● 2012 年のブックリストをご希望の方は、下記 IBBY 事務局までお問い合わせください。送料の実費にてお分けいたします。数に限りがございますのでご了承ください。

IBBY と JBBY

IBBY (国際児童図書評議会) は、1953 年、第二次世界大戦後のドイツで、子どもの本を通して国際理解を広めようとする人々たちによって創設されました。現在は 70 以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。「国際アンデルセン賞」「IBBY 朝日国際児童図書普及賞」「IBBY オナーリスト」「IBBY 障害児図書資料センター」などの事業を通じて、子どもの本の情報を発信しています。また、各国支部が協力して、支援を必要とする子どもたちに本が届くよう活動しています。IBBY の日本支部である JBBY (日本国際児童図書評議会) は、子どもたちの未来のためにサポーターを募集しています。

● JBBY 事務局

〒162-0828

東京都新宿区袋町 6 番

TEL 03-5228-0051

FAX 03-5228-0053

<http://www.jbby.org/>